

平成29年度

旭川市スポーツ賞を贈呈

この賞は、旭川市のスポーツの発展に貢献された個人や団体に贈るものです。
今年度は、次の3組に贈呈しました。

【詳細】スポーツ課 電話23・1944

スポーツ功労賞

おおいし あきら
大西 晃さん (卓球)

旭川卓球協会の要職を歴任し、53年間にわたり、同協会の発展や小・中学生への普及・指導などに貢献しました。北海道卓球連盟の役員も20年間務め、国体などで北海道選手団の監督として活躍。また、日本卓球協会評議員を5年間務め、同協会から感謝状を授与されました。



スポーツ奨励賞

おのしょうこ
小野 粧子さん (アイスホッケー)

市内の少年団でアイスホッケーを始め、広陵中学校から市外の高校へ進学しました。その後は実業団チームに所属して、日本代表として活躍。昨年2月、アイスホッケー女子日本代表チームの一員として平昌オリンピック最終予選ドイツ戦で得点し、オリンピック出場決定に貢献しました。



スポーツ奨励賞

旭川北高校アーチェリー部・女子 (アーチェリー)

平成29年度の全国高等学校総合体育大会 (インターハイ) アーチェリー競技大会で、チームワークの良さを発揮して、女子団体で28年ぶり2度目の優勝を果たしました。個人戦でも、中村美優選手と佐藤萌菜選手がそれぞれ5位に入るなど、各選手が全国の舞台上で健闘しました。



旭川出身・旭大星を応援しまじょう

大相撲力士の旭大星は、平成26年5月場所後に新十両に昇進した後、一度降格しましたが、翌年に復帰しました。2場所連続で勝ち越し、同30年3月場所は東十両筆頭となり、北海道出身力士で26年ぶりとなる新入幕が期待されます。



子ども農業体験塾

田植えや稲刈り、養蜂・酪農作業、果樹のもぎ取り、農産物を使った加工・調理などの体験を通して、子供の農業への理解を深める取組みです。参加者や保護者から「旭川の農業のことが分かって良かった」「子供の成長に必要な教材が、たくさん詰まっている」などの声が寄せられています。



参加者募集

とき 5月～12月の原則として土・日曜日 (全7回)

対象・定員 小学4～6年生・20人

料金 年3,000円 (他に食材費などが掛かる場合あり)

【申込】4月20日(金)までに農政課 電話25・7417



料金の記載がないものは無料ですが、入館料等が必要な場合があります。
申込みで抽選等の記載がないものは先着順です。☎はホームページを表します。

夜間急病センターの 診療場所・時間が変わります

4月1日(日)の午後10時から、
次のとおり変更します。
診療場所 市立旭川病院2階(金
星町1 ☎25・0297)
診療時間 午後10時～午前7時
30分(土・日曜日、祝日、年末

年始の朝は午前8時まで)
※夜間急病センターは、急病に
対応するものです。不要不急
の利用は控えてください。
【詳細】保健総務課
☎25・6354

救急診療案内

北海道救急医療情報案内センターで24
時間、内科・小児科・外科の
当番医を電話案内している他、
旭川市医師会☎に掲載



- 固定電話からはフリーダイヤル
☎0120・20・8699
- 携帯電話からは☎011・221・8699
- 【詳細】保健総務課☎25・6354

病児保育室の内覧会を開催

子供の発熱などの急病の際、保護者の
就労等により自宅での保育が困難な場合
に、一時的に看護や保育を行う施設です。
とき・ところ 3月25日(日) 午前10時
～午後4時(随時)・北彩都病児保育室
「まほうのちから」(宮下通11)
【詳細】こども育成課☎25・9106



北彩都病児保育室
「まほうのちから」

「旭川いのちの電話」相談員養成 公開講座(第一課程)の受講者を募集



「旭川いのちの電話」は、様々な
悩みを持つ方からの電話相談に応じ
ているボランティア団体です。昭和
55年の開設時から24時間体制で対応
してきましたが、相談員の減少によ
り、昨年11月から時間を短縮してい
る状況です。多くの方の受講をお待
ちしています。

とき 6月9日(土)・23日(土)、
7月7日(土)・14日(土)(全7講座)
いずれも午後1時～4時40分
ところ ときわ市民ホール(5の4)
対象・定員 どなたでも・50人
受講料 1講座600円(全7講座一
括払い4,000円)
申込 4月2日(月)からの平日午前9

時～午後5時に、旭
川いのちの電話(〒
070-0035 5の
10 ☎25・2143、
☎24・8927)。郵送やファックス
の場合は、住所・氏名・年齢・性別
・郵便番号・電話番号を明記
※相談員になるには、第二課程の受
講が必要です。詳しくは問い合わ
せを。
【詳細】旭川いのちの電話
☎25・2143

●住宅用火災警報器を設置、点
検をする

●消火器の
設置場所を
確認する

●避難経路を確認し、避難の妨
げになる物は置かない

●火災が発生したら、
大声で周りに
知らせながら逃げる

【詳細】消防本部予防指導課
☎25・1123



火災から命を守るために

- ストーブの近くに燃えやすい
物を置かない
- ガスコンロの周りに物を置か
ない
- コンセントを、たこ足配線に
しない
- 寝たばこをしない。
- 灰皿に水を入れる
- 放火されないように、燃えや
すい物を屋外に放置しない



火災を防ぐために



火事に気を
付けましょう